

6-4. 「コミュラボ・ラーニング」

○ 概 要

コミュラボ・ラーニングとは「小学校の授業内容に沿った生活科・理科・総合の学校対応プログラム」を体験するところです。23のプログラムから選択でき、全体で200を超える観察・実験があります。各校のカリキュラムに位置付けて活用していただけるようにしました。

○ 対象学年 福井県内の小学1～6年生（生活科、理科、総合）

○ 定 員 プログラムにより異なります。プログラム一覧をご覧ください。

○ 時 間

平日	土日祝・学校休業期間
9：40～10：40 11：00～12：00 13：00～14：00 14：20～15：20	開催しません。

※木曜日は開催しません。

※「サイエンスショー」と同じ日に開催することはできません。

※団体利用受け入れが出来ない日がありますので、団体利用プログラム受入れスケジュール（5～8ページ）をご確認ください。

なお、既に予約が入っている場合もありますので、予約の可否は、電話にてお問い合わせください。

○ 持 ち 物 たんけんバッグ、筆記用具は各自のものをご持参ください。

○ 内 容 「コミュラボ・ラーニング プログラム一覧」からお選びください。

○ 備 考 新型コロナウイルス対策のため、プログラム内容を一部変更しているものもあります。



令和4年度 コミュラボ・ラーニング プログラム一覧

教科領域	学年	プログラム名	内 容	関連単元 関連教科	定員
生活科	1	なかまをふやす たねのくふう	種や種の模型を使って遊びながら、植物は仲間を増やすために、いろいろな工夫をしていることを調べます。 ①ふわふわたげ作戦 ②くるくるまわるはね作戦 ③つばさでとぼう作戦 ④くつつき作戦	たのしいあき いっぱい	20名
	2	うごくおもちゃ	身近な物で作った動くおもちゃで遊びながら、動きの仕組み、面白さや不思議さに気付くことができます。5つのおもちゃ屋さんを回ります。 ○ゴムで動く ○空気で動く ○おもりで動く ○磁石で動く ○バネで動く	うごくうごく わたしのおもちゃ	20名
		ふしぎふしぎ	光・静電気・回転・鏡の簡単な実験を通して、楽しみながら自然の不思議を探ります。 ①光の不思議 ②静電気の不思議 ③回転の不思議 ④鏡の不思議	自然や物を使 ったあそび	20名
理科	3	風とゴムの はたらき	風やゴムで動くおもちゃや児童が乗れるエンゼルカーを使って実験します。風とゴムのエネルギーが動力に変わり、その強さで動く様子が変わることの理解を深めます。 ①風のはたらき ②ゴムのはたらき ③エンゼルカー(ゴム)	風やゴムで 動かそう	18名
		音のふしぎ	音源や音を伝える物の震え方と音の大きさ、高さの関係を様々な実験を通して学びます。 ①音を みてみよう ②音をつたえるもの ③音を楽しもう	音を出して 調べよう	21名
		じしゃくの性質	磁石につく物とつかない物を比較しながら、磁石の性質を学びます。また、日常生活の中で使われている磁石についても学びます。 ①強力磁石で ②鋼球のパワーアップ ③磁石を粉々にして ④砂の中の磁石	じしゃくに つけよう	20名
	4	からだの仕組み とはたらき	骨、筋肉、関節、腱と靭帯の連係プレーで体をスムーズに動かすことができる体の仕組みに気付くことができます。 ①支える骨 ②ぐるぐる関節 ③マッスルパワー ④つなげる腱・靭帯	動物のからだの つくりと運動	20名
		月と星	スペースシアターのプラネタリウムを活用し、星の色や明るさの違い、月や星の動きや特徴について学びます。南の空や北の空の星の動きを線にして残しながら見ることができます。	月や星の見え方 夏の星・冬の星	43名
		空気のか	空気のか力が実感できる実験を通して学びます。日常生活で使われている吸盤などにも、空気のか力が働いていることに気付くことができます。 ①空気を抜いていくと ②吸盤のか力は ③空き缶は ④空気を入れていくと	とじこめた 空気と水	20名
	5	天気の変化	「気温」「気圧」「水蒸気」をキーワードにして、天気の変化していく仕組みをとらえ、気象についての理解を深めます。 ①台風がやってくる ②風を知ろう ③雲を見よう ④天気とことわざ	天気の変化	20名
		物がとけるとは	食塩を使った観察・実験を通して水溶液についての理解を深めます。水溶液の中には溶かした物が確実に存在していることや、水との親和性が大事であることを調べていきます。 ①顕微鏡名人 ②とかし名人 ③ろ過名人 ④蒸発名人	物のとけ方	20名
		電流が うみ出す力	電流と磁石の関係から生み出される力について、発展的な実験を通して理解を深めます。3つのブースを回ります。 ①電流と磁石 ②電磁石の強さ ③電流と磁石のうみ出す力	電流が うみ出す力	21名

令和4年度 コミュラボ・ラーニング プログラム一覧

教科領域	学年	プログラム名	内 容	関連単元 関連教科	定員
理 科	6	物が燃えるとは	燃えるときの物と酸素の関係を粒子の存在と関わらせながら調べていきます。 ①熱ければ燃えるの ②燃えている物は ③炎の色は ④酸素の行方は	物の燃え方と 空気	20名
		月の形と太陽	エネルギーの源である太陽と、地球の衛星である月の素顔を紹介し、体験を通して月の満ち欠けの理由を学びます。3つのブースを回ります。 ①太陽と月・地球 ②月の満ち欠け ③月の1日の動き	月の形と太陽	21名
		大地のつくりと変化	大地を構成している地層、岩石、火山灰の観察・実験を通して、地層のでき方や大地の変動についての理解を深めます。3つのブースを回ります。 ①地層のでき方 ②大地をつくる岩石 ③火山と火山灰	大地のつくり 変わり続ける 大地	21名
		酸性とアルカリ性	身の回りの商品に酸性・アルカリ性の性質があることを調べます。理科の見方・考え方を働かせ、酸性・アルカリ性への理解を深めます。 ①みかんの缶詰工場に潜入 ②酸性の力・アルカリ性の力 ③食べ物調べ ④酸性雨	水溶液の性質と はたらき	20名
総合的な学習の時間	3	生き物のヒミツをまねる	身近な生き物のヒミツ（バイオミミクリー）を調べること、その機能が生活に便利な道具や設備、新しい技術や宇宙開発技術に活かされていることが分かります。 ①ハチのヒミツ ②ハスのヒミツ ③カブトムシのヒミツ ④カタツムリのヒミツ	理科・社会 環境	20名
	4	防災の科学	地震や雷、強風、大水といった災害を科学の視点から捉え直すことで、防災への意識を高め、自分の命を守るための対策について考えます。 ①地震 ②雷 ③強風 ④大水	理科・社会 環境	20名
	5	福井の伝統産業繊維	福井県の伝統産業である繊維について、作り出す工程を見たり、その特徴を調べたりします。伝統産業も科学技術の進歩と密接な関わりを持っていることに気づき、今後の繊維産業の可能性を探ります。 ①絹 ②人絹 ③ナイロン ④ポリエステル	理科・社会 家庭科	20名
	6	センサー	センサーが人の感知器の働きをしていることや使われている場所、感知の仕組みなどを調べます。センサーが便利な暮らしを支えていることに気付くことができます。 ①センサーの仕組みとセンサー探し ②センサー感知分析 ③人間センサー（感覚器官）の研究 ④センサーを使ったロボットレース	理科・社会 情報	20名
		人と環境	人間の活動が引き起こした環境問題をどう捉え、解決していくかについて科学技術を切り口に探り、自分はどうしたらよいかと考えるきっかけとなるようにする。 ①水 ②生き物 ③廃棄物 ④大気	理科・社会 家庭科・環境	20名
	3~4 5~6	宇宙	宇宙はどんな環境なの？宇宙へ行くにはどのような力が必要なの？宇宙で活躍する最新技術は何なの？など、宇宙に関する疑問を通して、宇宙開発への興味・関心を高めます。中学年と高学年では、発達段階に合わせて少し内容が異なります。 ①ロケットで宇宙へ ②宇宙の環境 ③宇宙開発技術 ④人と地球	理科・社会 環境	20名

生活科のプログラム紹介

生活科 1年生 たねのくふう

動けない草や木は、仲間をふやすための作戦を
もっているのかな？自然の力を借りるんだよ。



ブース①ふわふわ わたげ さくせん



小さなくさの たね
だけど、かぜにのって
とおくまでいけるよ。



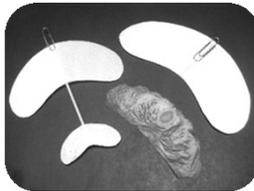
ブース②くるくる まわる はね さくせん



きから おちるときに
くるくるまわりながら
かぜにのるよ。



ブース③つばさで とぼう さくせん



大きなつばさを
ひろげて
ふわりふわりと
とんでいくよ。



ブース④くっつき さくせん



どうぶつさえいれば
とおくまで
はこんでもらえるよ。



※1人の児童が体験できるのは、いずれかのブース1つです。各ブースの紹介後、体験したいブースを選択していただきます。

生活科 2年生 うごくおもちゃ

いっぱい遊んで、動くおもちゃのヒミツを
見つけよう。何パワーで動くのかな？



エンゼルおもちゃタウンへ行こう!

いろいろな
あそび方を
ためしてみてね。



なにパワーで
うごいたかな？



「あそんで
みつけたこと」
あったかな？



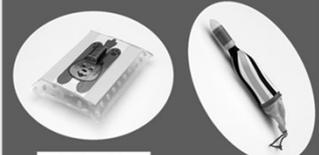
黄色のおもちゃやさん



ぞれいけ！
ホッピーくん！

とべとべくん

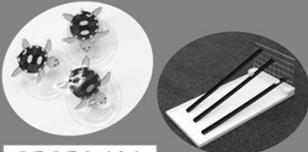
青のおもちゃやさん



ホバーカー

ほしロケット

みどりのおもちゃやさん



ころころカメさん

ころりんレース

赤のおもちゃやさん



バックンへびくん

うさちゃんを
たすけて！

ピンクのおもちゃやさん



ピュンピュンカー

とことこカメ



※60分のプログラムでは5つのおもちゃやさんを体験した後、一つだけおもちゃを作って持ち帰ることができます。50分や40分の短縮バージョンも可能です。予約の際に、ご相談ください。

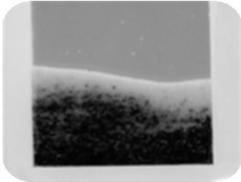
理科のプログラム紹介

理科 6年生 大地のつくりと変化

水の中でどうやって堆積するの？火山灰や岩石のふるさとは火山って本当かな？



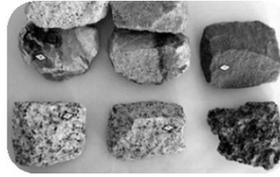
ブース①地層のでき方



地層の粒の大きさや色はどうなっているの？
地層ってどうやってできるの？



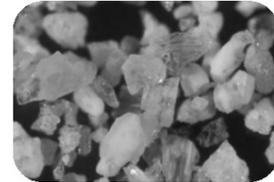
ブース②大地をつくる岩石



大地をつくる岩石にはどんな特徴があるの？



ブース③火山と火山灰



火山灰の粒はどんな形や色をしているの？



※3つのグループに分かれて各ブースを順に体験します。全員が全てのブースを体験できます。3年生「音のふしぎ」、5年生「電流がうみ出す力」、6年生「太陽と月」も同様に、3つのブースすべてを体験します。その他の理科のプログラムでは、1人の児童が体験できるのはいずれかのブース1つです。

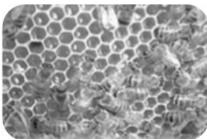
総合的な学習の時間のプログラム紹介

総合 3年生 生き物のヒミツをまねる

身近な生き物のヒミツが、生活に役立つ道具や設備に使われているよ。追求してみよう。



ブース① ハチのヒミツ



なぜ、六角形のおへやなの？



ブース② ハスのヒミツ



泥の池に生えているのにどうして汚れないの？



ブース③ カブトムシのヒミツ



パッととび立てるのはどうしてかな？



ブース④ カタツムリのヒミツ



なぜ、いつもおうちがピカピカなの？



※1人の児童が体験できるのは、いずれかのブース1つです。各ブースの紹介後、体験したいブースを選択していただきます。